

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道354号 北浦バイパス	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：茨城県											
起終点 ：自：茨城県行方市内宿 至：茨城県銚田市札		延長 ：5.6 km											
事業概要 ：一般国道354号は、群馬県高崎市を起点とし茨城県銚田市に至る延長約218kmの幹線道路である。北浦バイパスは、行方市内宿から銚田市札間の幅員狭小、線形不良区間の解消を目的とした延長5.6kmの2車線道路である。													
H 3年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 4年度用地着手	H 5年度工事着手										
全体事業費 ：73億円		事業進捗率 ：64%	供用済延長 ：3.9 km										
計画交通量 ：17,100台/日													
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 2.1 (残事業) 6.2	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 28 / 83 億円 (事業費：23/78 億円) (維持管理費：5/5 億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 174/174 億円 (走行時間短縮便益：168/168 億円) (走行費用減少便益：6/6 億円) (交通事故減少便益：0/0 億円)										
基準年 ：平成17年													
事業の効果等 ： ・物流効率化の支援（大型車通行規制箇所（鹿行大橋）の解消） ・災害への備え（対象区間が「茨城県地域防災計画」において第一次緊急輸送道路に指定） 他11項目に該当（定量的評価項目を含む）													
関係する地方公共団体等の意見 ： 本路線は、地域間交流の促進等に重要な役割を担っており、土浦市をはじめとする関係8市1町1村の首長で構成される国道354号整備促進協議会から早期完成の強い要請を受けている。													
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ： 平成17年11月1日に霞ヶ浦大橋有料道路が無料開放されたことにより、鹿行地域と県南、県西地域を結ぶ広域幹線道路としての役割が高まっている。													
事業の進捗状況、残事業の内容等 ： 一部区間において用地補償協議が難航し、工事の進捗が遅れていたが、現在までに約3.9kmを部分供用するとともに鹿行大橋の架替工事に着手している。（東側下部工4基完成済み）													
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ： 用地取得を平成19年度までに完了させ、早期完成を目指し工事の進捗を図る。													
施設の構造や工法の変更等 ： 再生材の利用及び現場発生土の有効利用等コスト縮減を図っている。													
対応方針 ：事業継続													
対応方針決定の理由 ： 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
事業概要図													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">—————</td> <td>供 用 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">■■■■■</td> <td>事 業 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▨▨▨▨▨</td> <td>再 評 価 箇 所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▨▨▨▨▨</td> <td>う ち 供 用 中</td> </tr> </tbody> </table>		凡 例		—————	供 用 中	■■■■■	事 業 中	▨▨▨▨▨	再 評 価 箇 所	▨▨▨▨▨	う ち 供 用 中
凡 例													
—————	供 用 中												
■■■■■	事 業 中												
▨▨▨▨▨	再 評 価 箇 所												
▨▨▨▨▨	う ち 供 用 中												

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。